

(1) 心豊かな人と文化を育むまち

(注)

- ・「市民満足度」について

毎年、実施している市民満足度調査において、各施策の満足度を100点満点で表示したものです。

計算方法としては、満足を100点、やや満足を75点、普通を50点、やや不満を25点、不満を0点として、それぞれの得票数に乘じ合計したものを総得票数で除したものであり、50点で普通となります。

2 まちづくりの目標別主要施策の成果

(1) 心豊かな人と文化を育むまち

【担当局】

市民政策局、健康福祉局、創造都市推進局、教育局

(政策)

「基本的人権を尊重する社会の確立」

基本的人権を尊重する社会を確立するため、同和問題を始め、様々な人権問題の解決に向け、人権教育・啓発を推進するとともに、人権啓発活動拠点の機能を充実し、人権を大切に社会づくりを進めます。

また、平和意識の高揚を図るため設置している平和記念室の効果的な運営などにより、平和意識の啓発を図り、平和を大切に社会づくりを推進します。

(施策)

「人権を大切に社会づくり」、「平和を大切に社会づくり」

「人権を大切に社会づくり」においては、市民一人一人が、あらゆる人権問題に対して、正しい認識と理解を深め、人権を尊重する社会を実現するため、市内の全地域に人権啓発推進員を引き続き設置したほか、人権・同和問題指導者研修講座、人権教育市民講座、人権フェスティバル等を開催するとともに、人権啓発活動拠点である文化センター（隣保館）・児童館においても、各種啓発事業を実施し、人権教育・啓発を推進したことにより、各種事業への参加者が増加するなど、人権問題の解決に向け、市民の人権意識の普及・高揚につながりました。

「平和を大切に社会づくり」においては、市民に戦争の悲惨さと平和の尊さを訴えるとともに、平和意識の啓発・普及を図り、平和を大切に社会をつくるため、閉館した平和記念室に代わる新たな市民の平和意識の普及・啓発の拠点として、平和記念館（仮称）の整備を進めたほか、平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、高松空襲写真展、高松市戦争遺品展、収蔵品巡回展及び平和教育講演会を開催するとともに、平和記念だよりの発行などにより、市民の平和意識の啓発・普及につながりました。

(政 策)

「男女共同参画社会の形成」

男女共同参画社会を形成するため、男女共同参画市民フェスティバルなど、様々な機会を通じて意識啓発を図るとともに、男女共同参画センターを市民の活動拠点として、家庭や職場など、あらゆる分野への参画の促進や、共に豊かで安心できる生活・環境づくりを推進し、男女共同参画の社会づくりを進めます。

(施 策)

「男女共同参画の社会づくり」

「男女共同参画の社会づくり」においては、市民の男女共同参画意識を高め、だれもがいいきいと自分らしく生きる男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画市民フェスティバルを実施したほか、女性教室の開設などを通じた意識啓発や、市民活動拠点である男女共同参画センターにおいて各種事業を行ったことにより、男女平等意識の向上や固定的な性別役割分担意識の解消につながりました。

(政 策)

「生きる力を育む教育の充実」

生きる力を育む教育の充実を図るため、次代を担う青少年が、心豊かにたくましく育つよう、基礎・基本を身につける確かな学力の育成など、学校教育の充実を図るとともに、学校教育施設の整備や就学支援の充実などの学校教育環境の整備、大学教育の充実促進などの高等教育の充実に努めます。

また、教育の原点である家庭教育の充実を図るとともに、青少年健全育成や、子どもの安全対策を推進します。

(施 策)

「学校教育の充実」、「学校教育環境の整備」、「家庭教育の向上」、「青少年の健全育成」、「子どもの安全確保」、「高等教育の充実」

「学校教育の充実」においては、児童生徒の確かな学力を育成し豊かな人間性を培うため、学習指導要領の趣旨に沿った教育課程の編成や学習指導の工夫、少人数学級指導体制の推進等を行うとともに、特別支援教育支援員等を配置し、一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育が充実したほか、問題行動等の未然防止とその解消に向け、ハートアドバイザーやスクールソーシャルワーカーを配置したことにより、組織的な指導体制・教育相談体制が充実しました。

また、菊池寛とその作品から学ぶ「寛学」事業の実施、学校図書館教育の充実、道徳教育及び人権教育の推進、さらには、児童生徒が運動に親しむ習慣や家庭との連携による基本的な生活習慣づくりなどにより、子どもの「生きる力」を育む学校教育が充実しました。

「学校教育環境の整備」においては、子どもたちが、安全に快適に学習ができる環境を確保するため、小・中学校校舎等の耐震化に努めるとともに、児童・生徒の急増により教室不足が生じている小・中学校の校舎増築、小・中学校の空調機設置、塩江地区の小・中学校建設工事、高松第一高等学校の図書館棟外壁その他改修工事、高松第一高等学校校舎改築基本構想の策定、教育情報通信ネットワークシステムによる教育の情報化を推進したことに加え、就学（園）支援の充実により、子どもたちの学習環境がより一層向上し、学校教育環境の整備に寄与しました。

「家庭教育の向上」においては、保護者が家庭で子どもの基本的な生活習慣を育むという本来の役割を果たせるよう、小学校・幼稚園等における「家庭教育学級」を開設するほか、全小学校の就学時健康診断の機会を活用し、就学前の子どもへの保護者を対象にした「子育て力向上応援講座」を開催するとともに、早寝早起き朝ごはん運動の啓発実施や全小・中学校の児童生徒を対象とした「生活リズムチェックシート」の配

布等により、子育てについて学習する機会を充実させるなど、家庭の教育力の向上に貢献しました。

「青少年の健全育成」においては、子どもたちの創造性や積極性、社会性を養い、心豊かな人間の育成を目指すため、青少年の非行防止活動事業を始めとする青少年健全育成事業を実施したほか、子どもたちの体験型学習活動を行う社会教育関係団体等を支援することにより、子どもたちの活動機会が増加し、心身共に健康で情操豊かな子どもの育成に寄与しました。

「子どもの安全確保」においては、児童生徒を事件や事故、犯罪から守るため、学校及び地域の学校安全ボランティア等に安全体制に関する指導助言等を行うスクールガード・リーダーを年間734回小学校等に派遣したほか、不審者情報のメール配信、学校における相談体制の充実や安全教育を推進したことにより、地域社会全体で児童生徒の安全確保と効果的な安全対策に取り組む意識が向上しました。

「高等教育の充実」においては、高等学校卒業後の人材の流出を抑制し、本市への定着化を図るため、大学等と瀬戸内地域活性化プロジェクトや演劇ワークショップなどの連携事業に取り組むことにより、学生が地域とかかわる大学等の地域貢献の機会を創出し、地域における地元大学等への親近感の醸成と地元大学等へ進学する機運の向上に貢献しました。

(政 策)

「心豊かな生涯学習社会の形成」

心豊かな生涯学習社会の形成を図るため、学習の機会の拡充や図書館を始めとする施設等の充実により生涯学習を推進するとともに、スポーツ・レクリエーション活動の推進や東部運動公園など施設の整備を行うほか、地域密着型トップスポーツチームを支援し、スポーツ・レクリエーションの振興を図ります。

(施 策)

「生涯学習の推進」、「スポーツ・レクリエーションの振興」

「生涯学習の推進」においては、「ともに学び・支えあう、地域力を育む生涯学習社会の創造」を目標に、市民が自らの学習成果を地域や社会で活かし活動できるよう、生涯学習の拠点施設である生涯学習センターと地域のコミュニティセンターが連携して、市民の幅広い学習ニーズに応えるための様々な講座を開催したほか、図書館においては、多様化する市民の生涯学習意欲に応えられるよう資料の整備・充実に努めるとともに、中央図書館及び各地域館において図書館のネットワーク化を図り、市内及び直島町において移動図書館車による図書館サービスを行ったり、地域の課題解決支援の一環として、子育て支援事業、ビジネス支援事業も積極的に行ったことにより、学習機会が増えるなど、生涯学習の充実に寄与しました。

また、情操豊かな幼児・少年・少女の育成を支援することを目的に、「まなびCAN・子ども教室」など、子ども主体の、子どものための施策・事業を実施したことにより、子どもの学習機会が充実しました。

「スポーツ・レクリエーションの振興」においては、市民のスポーツ・レクリエーション活動を推進するため、各種スポーツ団体の育成・支援やスポーツ施設・学校開放体育施設の効率的・効果的な管理運営を行ったりほか、市民のだれもが、気軽に参加できるスポーツ行事として、高松市民スポーツフェスティバルを実施するなど、市民の健康・体力づくり運動の普及や、スポーツ人口の拡大に努めたことにより、スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機運が向上しました。

(政 策)

「地域に根ざした文化芸術の創造と振興」

地域に根ざした文化芸術の創造と振興を図るため、文化芸術ホール等を活用して優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援など、市民の自主的、創造的な文化芸術活動を推進します。

また、文化芸術施設相互の連携を図る中で、その整備と機能の充実に努めるとともに、文化芸術の交流や効果的な情報発信を図り、文化芸術を創造する環境づくりを推進します。

また、国の特別史跡讃岐国分寺跡や古代山城屋嶋城の整備など、長い歴史と伝統に生まれ、伝承されてきた文化財の保存と活用に努めます。

(施 策)

「文化芸術活動の推進」、「文化芸術を創造する環境づくり」、「文化財の保存と活用」

「文化芸術活動の推進」においては、市民が優れた文化芸術に触れる機会の拡充や市民の自主的・創造的な文化芸術活動の推進を図るため、デリバリーアーツ（16回）や学校巡回芸術教室（20回）の実施、美術館の常設展・特別展（各4回）の開催を始め、文化芸術活動補助（41件）などを行うとともに、郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰し、文学展などを実施したことにより、市民が身近に優れた文化芸術に触れる機会が増えるなど、市民の文化芸術活動への関心が高まりました。

「文化芸術を創造する環境づくり」においては、市民が気軽に文化芸術に触れる機会と場を創出するため、高松市文化芸術ホールや高松国分寺ホールの管理運営や自主事業の実施、菊池寛記念館等の文化施設の管理運営を行うとともに、まちなかパフォーマンス等を実施するなど、文化芸術を創造する環境づくりに努めたことにより、市民に新たな文化芸術に触れる機会と場を提供するなど、地域に根ざした文化芸術の創造と振興に成果がありました。

「文化財の保存と活用」においては、市内に所在する遺跡の調査及び本市の貴重な文化財である石清尾山古墳群・屋島・讃岐国分寺跡等の保存・管理等を行いました。

また、史跡讃岐国分寺・国分尼寺跡の公有化の実施や石清尾山古墳群稲荷山地区（稲荷山姫塚古墳ほか）の確認調査を行うとともに、屋嶋城跡城門遺構の一般公開を目指し、整備工事を行いました。

さらに、「ふるさと探訪」など文化財学習会を開催するとともに、指定文化財の管理や公開事業に対して助成を行うことにより、市民の文化財への関心が高まるなどの効果がありました。

平成26年度 施策の概要調書

施策	人権を大切にする社会づくり	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		153,956千円	56.0(54.6)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政策	基本的人権を尊重する社会の確立
担当局	市民政策局、教育局

対象	市民
----	----

目的	同和問題を始め、様々な人権問題の解決に向け、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現を図る。
----	--

概要(実績)	<p>市民一人一人が、あらゆる人権問題に対して、正しい認識と理解を深めることができるよう、各種講座や研修会等を開催し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育市民講座 2, 137人参加 ・「人権啓発推進員」による啓発事業 5, 904人参加 ・人権啓発推進員研修会 57人参加 ・人権・同和問題指導者研修講座 延べ624人参加 ・ハンセン病を正しく理解する講演会 173人参加 ・人権フェスティバル 約3,000人参加 ・文化センター(隣保館)・児童館利用者 83,053人
--------	--

成果指標	① 指標名 文化センター(隣保館)・児童館利用者数	実績値	目標値	達成度
		83,053 人	76,300 人	108.9%
	② 指標名 人権啓発事業等参加人数	実績値	目標値	達成度
		11,895 人	9,150 人	130.0%
	② 指標式 人権教育市民講座参加者数+人権啓発推進員による啓発事業参加者数+人権啓発講演会等4事業参加者数			

課題	<p>【市民政策局】 同和問題を始めとする様々な人権問題が今なお解決に至っていないことから、今後とも、市民一人一人が正しい認識と理解を深めることができるよう、なお一層効果的な取組が求められる。</p> <p>【教育局】 同和問題を始め、様々な人権問題に対し、学校人権教育・社会人権教育の関係組織と連携を図っているが、市民一人一人の人権教育に対する意識・関心が十分でないことから、今後とも、社会人権教育の充実・発展を強力に推進していく必要がある。</p>
----	--

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	人権啓発推進事業 45,669千円	<p>人権啓発推進員(地域コミュニティ協議会選出)への支援、人権・同和問題指導者研修講座、ハンセン病を正しく理解する講演会、人権フェスティバルの開催など、各種の啓発推進事業等を実施したことにより、市民の人権意識の普及・高揚につながった。</p> <p>人権啓発推進員数 62人 「人権啓発推進員」による啓発事業参加者数 5,904人 人権啓発推進員研修会参加者数 57人 人権・同和問題指導者研修講座参加者数 延べ624人 ハンセン病を正しく理解する講演会 173人 人権フェスティバル参加者数 約3,000人</p>
	市民政策局 人権啓発課	
2	隣保館・児童館管理運営事業 61,304千円	<p>各種相談事業や啓発・広報活動事業、クラブ活動等を実施したことにより、地域住民の福祉の増進及び教育水準の向上並びに地域児童の健全育成に寄与した。</p> <p>なお、施設の修繕・改修等のうち、中川文化センター改修工事及び国分寺文化センター大規模改修その他設計業務委託において、契約の締結に不測の日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、当該事業の一部を翌年度に繰り越した。</p> <p>(繰越明許費繰越額：122,525,000円) また、前年度から繰越事業である上天神文化センター空調設備改修工事については完了した。</p> <p>(平成25年度繰越明許事業費：6,294,840円)</p>
	市民政策局 人権啓発課	
3	人権啓発活動事業 610千円	<p>幼児・児童生徒及び保護者等による作文朗読、合唱、人形劇などを内容とする「みんなで人権を考える会」を開催予定であったが、大雨警報のため、やむを得ず中止となった。</p> <p>なお、発表のための練習やプログラムの事前配布など、開催準備の過程で、幼児・児童生徒及びその保護者を始めとする市民の人権意識の高揚につながった。</p>
	教育局 人権教育課	
4	文化交流推進事業 4,390千円	<p>地域住民を対象に文化センター(隣保館)・児童館の主催で、教養を高める各種講座(社会教育学級)や、ボランティア活動、三世代交流、地域交流行事など様々な体験・交流の機会を提供する教室(ふれあい教室)を開催したことにより、地域住民の教育水準の向上や家庭及び地域社会における人間関係の円滑化、自立意識の高揚及び社会的自覚を促進した。</p>
	教育局 人権教育課	
5	子ども教育推進事業 6,604千円	<p>地区小・中学生を対象とした補充学習、地区小・中学生及びその保護者を対象とした進路・進学等についての教育相談、大学生のボランティアによる学習支援等を行うとともに、その経費を支出したことにより、地区小・中学生の基礎学力の定着・進学意欲の向上につながった。</p>
	教育局 人権教育課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	学校人権教育推進事業 6,874千円	高松市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校に対し、人権教育指導資料の作成・発行、人権教育教員研修会の開催、人権教育研修会への参加費補助、人権教育資料の購入等を行ったことにより、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。
	教育局 人権教育課	
7	社会教育指導員設置事業 16,750千円	地域における子どもの学習指導・生活指導の充実を図り、進路保障を実現するため、社会教育指導員を配置した。 また、社会教育指導員の派遣を行ったことにより、人権教育市民講座等、人権課題解決のための各種研修が充実した。
	教育局 人権教育課	
8	社会人権教育推進事業 11,142千円	市民に対し、人権教育市民講座や人権教育研修会の開催、人権教育指導資料の作成と視聴覚教材の購入、人権尊重都市たかまつ市民会議への助成等を行ったことにより、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。
	教育局 人権教育課	
9	人権教育事務 613千円	人権教育課職員が四国地区人権教育研究大会、全国人権・同和教育研究大会等に参加し、人権・同和教育の正しい理解と実践について研究を行ったことにより、市民に対し、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。
	教育局 人権教育課	

平成26年度 施策の概要調書

施策	平和を大切にする社会づくり	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		61,121千円	57.8(54.1)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政策	基本的人権を尊重する社会の確立
担当局	市民政策局

対象	市民
----	----

目的	平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭などの開催により、市民に戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和意識の向上を図る。
----	---

概要(実績)	市民に戦争の悲惨さと、平和の尊さを訴えるため、平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、高松空襲写真展、高松市戦争遺品展、収蔵品巡回展及び平和教育講演会を開催したほか、平和記念だよりを発行したことなどにより、市民の平和意識の啓発・普及につながった。
--------	--

成果指標	①	指標名	平和記念室入館者数	実績値	目標値	達成度
		指標式	年間入館者数	—	—	—
	②	指標名	平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数	実績値	目標値	達成度
		指標式	平和意識の啓発事業の参加者数+写真展・巡回展の参加者数	7,823 人/年	7,250 人/年	107.9%

課題	平和記念室が設置されていた市民文化センターの閉館に伴い、新しい平和記念館(仮称)が開館するまでの間は、常設展や平和学習の拠点機能などが休止するため、平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭や戦争遺品展などに加え、収蔵品巡回展を実施するなど、平和を大切にする社会づくりに向けた、継続的かつ積極的なソフト事業の実施が必要である。また、平和記念館(仮称)の整備に当たっては、平和を大切にする社会づくりのための拠点施設となるような施設に整備する必要がある。
----	--

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	平和啓発推進事業 5,970千円	市民に戦争の悲惨さと、平和の尊さを訴えるため、平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭を開催するなど、市民の平和意識の啓発・普及を図った。 平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭 5月24日開催、参加者131人 高松空襲写真展 7月2日～8日開催、展示点数34点 高松市戦争遺品展 7月28日～8月1日開催、展示点数117点 收藏品巡回展 11月1日～2日開催、展示点数34点 教職員のための平和教育講演会 1月6日開催、参加者52人 平和記念だより 4回発行
	市民政策局 人権啓発課	
2	平和記念館（仮称）整備事業 55,151千円	平和記念室は、設置していた文化センターの老朽化等による廃止のため閉館し、子どものための施設として整備される「高松市こども未来館（仮称）」、移転整備される「高松市男女共同参画センター」と一体的に、新たに「高松市平和記念館（仮称）」として整備する。 平成23年7月にとりまとめた基本構想を基に、24年7月に「高松市こども未来館（仮称）、高松市平和記念館（仮称）、高松市男女共同参画センター基本計画」を策定し、26年5月に展示設計を取りまとめ、26年12月より、展示製作を進めている。
	市民政策局 人権啓発課	

平成26年度 施策の概要調書

施策	男女共同参画の社会づくり	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		43,576千円	52.9(52.6)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政策	男女共同参画社会の形成
担当局	市民政策局、健康福祉局、教育局

対象	市民
----	----

目的	男女共同参画社会を形成するため、男女共同参画市民フェスティバルなど、様々な機会を通じて意識啓発を図るとともに、男女共同参画センターを市民の活動拠点として、家庭や職場など、あらゆる分野への参画の促進や、共に豊かで安心できる生活・環境づくりを推進し、男女共同参画の社会づくりを進める。
----	--

概要(実績)	<p>男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画週間や男女共同参画市民フェスティバルにおいて、街頭キャンペーンや講演会等を実施した結果、男女共同参画意識が向上した。</p> <p>男女共同参画社会の実現に向けた市民活動拠点である男女共同参画センターにおいて、学習研修事業や相談事業等を実施したことにより、男女共同参画社会の形成促進に一定の効果が得られた。</p> <p>コミュニティセンター等において女性教室を開設した結果、女性の自主的な学習や社会活動への参画につながった。</p> <p>女性相談により、生活・家庭等、女性の抱える問題や悩みを解消・軽減したほか、配偶者等からの暴力(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談について、関係機関と連携し、必要な保護・支援を行ったことにより、配偶者からの暴力防止に対する効果的な支援につながった。</p>
--------	--

成果指標	① 指標名 審議会等における女性委員の割合	実績値	目標値	達成度
		38.7%	40.0%	96.8%
	② 指標名 「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感する市民意識の割合	実績値	目標値	達成度
		6.7%	6.9%	102.9%
	指標式	市民生活意識調査結果(減少が望ましい)		

課題	【市民政策局】 子育て世代の女性の就労環境や配偶者等からの暴力(ドメスティック・バイオレンス)など、経済情勢や新たな社会問題から生じる課題に対応するため、男女共同参画への更なる意識啓発が必要である。
	【健康福祉局】 配偶者等からの暴力による被害女性に対し、自立に向けた心理的ケアが必要であり、女性相談業務の専門性を高めるなど、更なる体制の充実を図っていくことが必要である。
	【教育局】 社会情勢の変動等に伴い、多様化する女性の価値観やニーズを的確に把握して、時代に即応した講座の実施が求められている。

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	男女共同参画社会推進事業 1,332千円	男女共同参画都市宣言の趣旨を踏まえ、男女共同参画週間に講演会や弁護士相談を実施したほか、男女共同参画市民フェスティバルなどの機会に、広く市民に対する啓発活動を行うなど、男女共同参画社会の推進に寄与した。 また、高松市男女共同参画推進懇談会を3回開催し、次期たかまつ男女共同参画プラン策定等に関する意見を聴取した。
	市民政策局 男女共同参画推進室	
2	男女共同参画センター管理運営事業 29,500千円	男女共同参画社会の実現に向けた市民活動拠点である高松市男女共同参画センターの管理運営を、前年度に引き続き、特定非営利活動法人たかまつ男女共同参画ネットに委託し、学習研修事業や相談事業を実施するなど、男女共同参画社会の実現の促進に寄与した。
	市民政策局 男女共同参画推進室	
3	女性教育推進事業 1,575千円	女性が豊かな人間性を培い、自らの資質や能力の向上を図るとともに、社会活動への積極的な参画を促進するため、地域コミュニティセンター等において女性教室を開設し、多種多様な学習や体験活動の機会を提供した。 ・女性教室の開設数 地域コミュニティ 48教室 市民グループ 5教室
	教育局 生涯学習課	
4	女性団体育成事業 1,000千円	男女共同参画の視点から、地域社会の発展に寄与することを目的とした女性団体の活動を支援した。
	市民政策局 男女共同参画推進室	
5	女性相談事業 8,687千円	女性相談員による生活・家庭等女性の抱える問題や悩みを解消・軽減したほか、配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）に関する相談について必要な保護・支援を行うとともに、香川県が設置する香川県子ども女性相談センター（配偶者暴力相談支援センター）等、関係機関と連携し、必要な保護・支援を行ったことから、配偶者からの暴力防止に一定の効果が得られた。 女性相談員 3人 相談日時 月曜日～金曜日 9時～16時 延べ相談件数 2,452件
	健康福祉局 こども女性相談室	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	男女共同参画センター 移転整備事業	男女共同参画社会の実現に向け、引き続きセンター事業を実施するため、移転整備に係る建築実施設計を取りまとめ、建設工事に着手した。
	市民政策局 男女共同参画推進室	
7	次期たかまつ男女共同 参画プラン策定事業 1,482千円	「第3次たかまつ男女共同参画プラン」が平成27年度で終了することから、次期たかまつ男女共同参画プランを策定するに当たり、基礎データとするため、市民生活意識調査、事業所実態調査、市民団体等意識調査を実施するとともに、男女が共に、意見を出し合い、自由な立場で議論しあうことができる「ワールド・カフェ」を開催した。
	市民政策局 男女共同参画推進室	

平成26年度 施策の概要調書

<table border="1"> <tr> <td>施策</td> <td>学校教育の充実</td> </tr> </table>	施策	学校教育の充実	<table border="1"> <tr> <td>事業費</td> <td>市民満足度 (括弧は昨年度)</td> </tr> <tr> <td>1,519,366千円</td> <td>56.4(55.3)</td> </tr> </table>	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)	1,519,366千円	56.4(55.3)
	施策	学校教育の充実					
事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)						
1,519,366千円	56.4(55.3)						

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政策	生きる力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	高松の子どもたち（児童生徒）、学校、家庭及び地域
----	--------------------------

目的	教員の資質の向上と教育指導体制の充実を図り、高松の子どもたちの確かな学力、豊かな心と体を育成するとともに、学校・家庭・地域が、その役割を十分に担い、相互に連携して学校教育を充実させる。
----	--

概要（実績）	<p>学習指導要領の趣旨に沿った授業、少人数学級の推進等で、総合的な学力の向上を図り、また、特別支援教育、帰国児童生徒・外国人児童生徒指導援助、高等学校教育等を充実させることにより、確かな学力を育成した。</p> <p>道徳教育や学校人権教育の推進、体験活動による地域の人々との交流、読書活動による本とのふれあい、児童生徒が運動に親しむ習慣づくりや、家庭との連携による基本的な生活習慣を育成することにより、豊かな心と体を育てる教育の推進に寄与した。</p> <p>教員に対する研修を充実させ、教員の資質向上に取り組むとともに、特別支援教育支援員の配置や学校評価の推進による学校運営の改善等により、教育指導体制を充実させた。</p>
--------	---

成果指標	① 指標名 指標式	教職員研修参加者数	実績値 2,785 名	目標値 1,500 名	達成度 185.7%
		1年度における教職員研修参加者数			
	② 指標名 指標式	不登校児童生徒の学校復帰率	実績値 51.9 %	目標値 50.0 %	達成度 103.7%
		1年度における学校復帰者数 / 1年度における適応指導教室在籍者数 × 100			
	③ 指標名 指標式	生鮮野菜・果物の県産使用割合	実績値 53.1 %	目標値 50.0 %	達成度 106.2%
		学校給食による生鮮野菜・果物の県産品年間使用量（重量） / 同生鮮野菜・果物の年間使用量（重量） × 100			

課題	本施策については、日々教育活動を充実していくことが重要であり、また、子どもの健全育成のために、地域や家庭の教育力の向上を支援する取組の充実、また、確かな学力の定着と個性と創造性を伸ばす教育を更に進めるため、わかりやすい授業の創造や授業内容を向上させる具体的な取組が課題である。
----	--

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	高等学校カウンセラー 配置事業 454千円	生徒の不登校や問題行動等に対応するため、専門的知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、生徒や保護者等へのカウンセリングを行い、生徒の快適な学校生活を支援した。
	教育局 高松第一高等学校	
2	帰国児童等指導援助事業 3,919千円	市立小中学校に在籍する児童生徒で、日本語指導を必要としている帰国児童生徒・外国人児童生徒に、学習や生活についての指導援助を行う指導者を派遣し、外国人児童生徒等が日本語で学習に参加できるよう日本語指導が行われた結果、学校生活を支援する上で成果が得られた。
	教育局 学校教育課	
3	総合的な学習の時間活 性化推進事業 6,490千円	総合的な学習の時間の充実や地域等の教育力の有効活用のため、市立小中学校73校全校に経費補助を行ったことにより、各学校において効果的な活用が図られ、家庭、学校、地域、行政などの緊密な連携づくりに寄与した。
	教育局 学校教育課	
4	教材整備事業 108,561千円	小学校、中学校において、計画どおりに教材整備ができ、子どもたちの学習環境が充実した。
	教育局 総務課	
5	教材研究等事業 4,602千円	教職員が使用する教科書及び指導書等の整備を行い、義務教育の充実を図ったほか、新学習指導要領の移行措置に対応した教師用指導書を支給し、確かな学力を育てる教育に貢献した。
	教育局 学校教育課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	教育相談・就学指導委員会開催事業 1,616千円	平成26年度は、小学校新入学児への就学等教育相談を222件、就学指導委員会においては、在籍児童を含めた就学判定を計360件行うなど、適正な就学指導に寄与した。
	教育局 学校教育課	
7	不登校対策事業 20,455千円	適応指導教室推進事業として「新塩屋町 虹の部屋」「香川町 みなみ」を運営するほか、教育相談や学習支援、体験活動を行い、「虹の部屋」は46名「みなみ」は8名が通室し、28名が学校復帰した。 フレンドシップ事業として、本市小中学校の不登校傾向のある児童生徒を対象に、自立心や社会性を育てるために、年間2回の活動を行い、延べ152人が参加した。 また、年間2回の不登校に関する援助推進委員会を開催し、より効果的な支援策について検討した。
	教育局 総合教育センター	
8	教育文化振興事業 2,897千円	教育文化祭音楽会においては、小学校13校(642名)、中学校20校(746名)の児童生徒が参加し、合唱、音楽劇、合奏、吹奏楽で日頃の音楽活動の成果を発表したことにより、保護者等、多くの来館者を得た。 また、科学展、展覧会等を開催することにより、児童生徒の豊かな創造力と表現力の育成に寄与した。
	教育局 学校教育課	
9	環境教育推進事業 8,819千円	「高松市子ども環境学習交流会」を開催し、児童生徒による各学校の環境学習の取組の発表や、エコホテルの見学等を行うことにより、環境意識の高揚につながった。 また、「香川用水の水資源巡りの旅」(中学生対象)を実施し、早明浦ダムや池田ダム等の見学をすることにより、香川用水及び水資源の重要性についての意識の高揚につながった。
	教育局 学校教育課	
10	児童生徒指導推進事業 82,322千円	学校、地域に関わりの深い人材40名を「ハートアドバイザー」として、小学校40校に配置し、学習支援、生活支援、教育相談等に当たることにより、問題行動等の未然防止と解消に寄与した。 また、社会福祉士等の資格を有するスクールソーシャルワーカー9名を中学校23校に配置し、専門的な知識や技術、関係機関とのネットワークを活用し、対応策を立てることにより、問題行動等の未然防止と解消に寄与した。 さらに、中学校22校において、生徒指導に関する地域ボランティアを募り、135名に委嘱するとともに、学校サポート委員会を組織するなど、地域の教育力を生かしながら、生徒の健全育成を進めた。
	教育局 学校教育課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
11	給食調理場管理運営事業 176,589千円	学校給食センター以外の調理場において、機器類の整備等、適切な維持管理を行うことにより、安全安心な学校給食を提供することができた。
	教育局 保健体育課	
12	日本スポーツ振興センター負担金事業 34,377千円	学校管理下における児童生徒等の災害に対して、独立行政法人スポーツ振興センターにおいて、災害共済給付（医療費・障害見舞金・死亡見舞金）を行ったことにより、学校教育の円滑な実施と保護者の負担軽減に寄与した。
	教育局 保健体育課	
13	学校給食推進事業 5,233千円	給食関係職員等に対して、専門知識を深める研修会等を実施し、資質を向上させるとともに、各衛生検査の実施により、衛生管理の徹底に取り組んだ。
	教育局 保健体育課	
14	学校給食共同調理事業 37,784千円	学校給食センターから受配校への学校給食の配送及び回収を業務委託することにより、迅速・確実・安全に行うとともに、学校給食センターにおける配膳業務に係る嘱託職員を雇用することにより、配膳用務を円滑化し、安全安心な学校給食を提供することができた。
	教育局 保健体育課	
15	共同調理給食運搬事業 63,054千円	学校給食調理場から受配校への学校給食の配送及び回収を業務委託することにより、迅速・確実・安全に行うとともに、学校給食共同調理場等における配膳用務に係る嘱託職員を雇用することにより、配膳用務を円滑化し、安全安心な学校給食を提供することができた。
	教育局 保健体育課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
16	生徒等健康診断事業 154,930千円	<p>児童生徒の健康診断を実施し、疾病の早期発見と適切な予防に役立てたほか、小児生活習慣病予防検診を全小学校の4年生を対象に実施し、さらに、小学校での生活習慣の改善が継続できているかの確認をするため、全中学校1年生のうち、肥満度・腹囲などから抽出した者を対象に実施するなど、健康診断を充実させた。</p> <p>また、就学時健康診断を実施し、小学校入学予定者の健康状態等を把握し、円滑な学校教育と学校保健の向上に取り組んだ。</p>
	教育局 保健体育課	
17	高松市学校給食会補助事業 75,565千円	<p>高松市学校給食会に補助金を交付することにより、学校給食の食材等給食用物資を適正かつ円滑に供給し、学校給食の資質の向上及び学校給食に係る保護者の負担軽減に取り組んだ。</p>
	教育局 保健体育課	
18	給食センター管理運営事業 358,785千円	<p>学校給食センターにおいて、適切な施設管理に努め、円滑な運営を行うことにより、安全安心な学校給食の安定的な提供ができた。</p>
	教育局 保健体育課	
19	学校体育推進事業 33,283千円	<p>児童生徒の交流の場として体育大会を開催し、体力・運動能力の向上や相互の友情を深めるとともに、教職員の体育指導の資質を高めるなど、体育の充実発展と心身ともに健全な児童生徒の育成に取り組んだ。</p>
	教育局 保健体育課	
20	教職員能力向上事業 15,903千円	<p>学校職員の資質・能力を向上させることを目的として、平成26年度は、運営する総合教育センターにおいて、管理職研修、初任者研修、節目研修等34種の研修を実施し、学校課題の解決及び学校教育の充実に貢献した。</p>
	教育局 総合教育センター	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
21	教育に関する調査研究 推進事業 13,551千円	市内の小中学校に調査研究への協力を依頼し、その研究成果を研究紀要にまとめ、各校（園）・関係機関に配布するとともに、総合教育センターWebページに掲載した。 また、調査研究成果の普及を図るため、市立学校・園の教職員を対象に、研究発表会を開催した。（参加者数 319名）
	教育局 総合教育センター	
22	教育研究研修事業 10,134千円	「高松市子ども議会」を開催し、小・中学校の児童生徒の代表が、自ら作成した質問による市議会の模擬議会を体験し、児童生徒の市政についての関心が深まるとともに、未来の有権者としての自覚を促す効果があった。 また、学校現場における自主的研修に助成することにより、教員の資質向上に寄与した。
	教育局 学校教育課	
23	研究指定校研究推進事業 937千円	国・県から研究指定校等事業を受けることにより、学校課題の解決及び学校教育活動の改善・充実や、教職員の資質・能力の向上に一定の効果を得ることができた。 平成26年度は、思考力等の育成モデル事業（下笠居小）、分かる授業づくり事業（協和中）、中学国語力向上事業（香川第一中）、道徳教育地域地域支援委託事業（龍雲中）を実施した。
	教育局 学校教育課	
24	学校評議員制度推進事業	学校が地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携協力し、一体となって、子どもの健やかな成長を図っていくため、学校評議員を委嘱し、学校運営に有効に活用するとともに、より一層地域に開かれた学校づくりの推進に役立てた。 学校評議員の任期は1年以内とし、学校運営に意見を述べることができる。このことにより、学校や地域の実情に応じて、学校運営に関し、保護者や地域住民等の協力を得ることができた。 また、学校運営の状況等を周知するなど、保護者や地域住民等の意向を反映するとともに、学校としての説明責任を果たすことができた。
	教育局 学校教育課	
25	英語教育推進事業 112,049千円	「語学指導等を行う外国青年招致事業」（JETプログラム）による外国語指導助手（ALT）22名を各学校に派遣することにより、中学校英語教育や小学校英語活動、国際理解教育が充実した。 また、小学1年生から実施する英語教育において、学級担任を補助する「英語指導補助員」を全小学校に配置することにより、英語教育が充実した。さらに、小学生高学年の希望者を対象に、「1日英語生活体験教室」を実施することにより、英語学習に対する興味を喚起し、英語学習を発展させる機会とした。
	教育局 学校教育課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
26	児童生徒副読本支給事業 35,569千円	学校教育における補助教材として、小学校1年生から6年生に体育用と道徳用、小学校3・4年生に社会科用、中学校1年生から3年生に道徳用の副読本を支給することにより、教育の充実に寄与するとともに保護者の負担を軽減した。
	教育局 学校教育課	
27	高等学校英語教育推進事業 3,774千円	国際文科コースにおいて、外国からの招聘講師による授業や、外部講師による英語での授業、海外語学研修を実施するなど、多様な手法により国際化に対応できる人材を育成した。
	教育局 高松第一高等学校	
28	いじめ等対策事業 3,919千円	12学級以上（特別支援学級は除く）の小学校35校に、児童の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラー及びスクールカウンセラーに準ずる者を配置することにより、小学校におけるいじめ、不登校等の問題行動等の早期発見・早期対応につながった。 また、中学校区に同一カウンセラーを配置し、年間1～3回の小中連絡協議会を開催することにより、小学校における教育相談活動の充実や小中学校が連携した取組が進んだ。
	教育局 学校教育課	
29	教育委員会事務 10,169千円	教育基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育に関する事務を執行するため、施策等について協議・決定した。 また、教育振興基本計画の推進、教育委員意見交換会を開催した。
	教育局 教育局総務課	
30	学校保健推進事業 45,314千円	環境衛生検査を実施することにより、学校における教育活動が安全な環境の下で行われ、学校内の環境衛生が向上することに貢献した。 また、教職員の健康診断を実施し、疾病の早期発見と教職員の健康の保持増進に貢献した。
	教育局 保健体育課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
31	高等学校教育研究研修事業 55,572千円	各種の研究会等への参加や、研究用の雑誌を購読し、教員の資質の向上と授業の質を高め、生徒の学力向上に寄与した。
	教育局 高松第一高等学校	
32	高等学校教材研究等事業 19,315千円	教師用教科書・指導用図書及び理科・数学を始めとする教材の購入のほか、ピアノの調律、パソコン等の賃借など、教材等の管理・整備を行うことにより、教育環境が充実した。
	教育局 高松第一高等学校	
33	菊池寛及びその作品から学ぶ「寛学」事業 650千円	郷土の偉大な作家、菊池寛の生い立ち及び作品を掲載した、小学校・中学校用作品集を作成し、小・中学校の学級に備え付け、児童生徒（小学校5、6年生、中学校1～3年生）を対象として、一斉読書活動や道徳等の時間に活用することにより、郷土愛や向上心の醸成に寄与した。 また、事業趣旨の浸透を図り、作品に接する多様な機会を創出するために、小学校10校を選定し、各校において朗読劇の出前講座を実施した。（5年間継続の1年目）
	教育局 学校教育課	
34	土曜学習研究指定校事業 1,072千円	土曜日を有効活用して、学習の場を整え、学ぶ意欲を高めるとともに、家庭学習の習慣づけを促し、基本的な学習習慣の確立を目的として、市内中学校に土曜学習研究指定校を募集し指定を行った。 平成25、26年度の2か年に、研究指定校3校で、月2回程度実施し、自主的に学ぶ学習習慣の確立のための土曜学習の研究に寄与した。
	教育局 学校教育課	
35	次期教育振興基本計画策定事業 2,206千円	次期教育振興基本計画を策定するに当たり、本市の教育に関するアンケート調査を、児童生徒・保護者・教員及び一般市民に行い、現状把握及び市民の教育に対するニーズ等を把握した。
	教育局 総務課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
36	理科教育支援員配置事業 3,610千円	児童の科学への興味・関心、学習への意欲を高めるとともに、担任が指導する理科授業の内容を向上させるため、小学校の指定校に「補充学習や発展的な学習など、学力向上等のための学校サポーター」として配置し、理科授業を支援した。
	教育局 学校教育課	

平成26年度 施策の概要調書

施 策	学校教育環境の整備	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		8,908,550千円	57.2(55.3)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政 策	生きる力を育む教育の充実
担当局	健康福祉局、教育局

対象	市立小・中学校、幼稚園、高松第一高等学校の児童・生徒及び園児
----	--------------------------------

目的	学習環境の充実を図ることにより、子どもたちの学力・体力の向上を目指す。
----	-------------------------------------

概要(実績)	<p><学校教育施設の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の校舎等の耐震化 ・紫雲中学校・山田中学校の校舎等の改築、龍雲中学校の校舎増改築、古高松南小学校ほか20校の空調機の設置など ・高松第一高等学校図書館棟外壁その他改修工事など <p><教育機能の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領実施に伴う教材整備 ・図書教育用パソコンの整備など <p><家庭・地域との連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校サポート協議会の運営(新番丁小)など
--------	--

成果指標	① 指標名 幼稚園施設耐震化率	実績値	目標値	達成度
		100.0 %	100 %	100.0%
	指標式 耐震性能のある棟数/学校施設棟数(床面積200㎡以上もしくは2階以上)×100	実績値	目標値	達成度
		98.0 %	99 %	99.0%
	② 指標名 小・中学校施設耐震化率	実績値	目標値	達成度
		100.0 %	100 %	100.0%
指標式 高松第一高等学校施設耐震化率	実績値	目標値	達成度	
	100.0 %	100 %	100.0%	
③ 指標名 耐震性能のある棟数/学校施設棟数(床面積200㎡以上もしくは2階以上)×100	実績値	目標値	達成度	
	100.0 %	100 %	100.0%	

課題	<p>【健康福祉局】 老朽化した公立幼稚園施設や幼稚園備品等については、計画的に整備等を行い、良好な教育・保育環境を維持していく必要がある。</p> <p>【教育局】 財政状況が厳しい中、学校施設や学校備品等については、老朽化が進んでおり、今後、計画的な改築、修繕が必要である。</p>
----	---

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	小・中学校校舎等増・改築事業 2,117,160千円	<p>校区内の急激な都市化により、教室不足が生じている小・中学校の校舎等の増・改築等整備を行った。 なお、栗林小学校、三溪小学校、龍雲中学校校舎等建設事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：124,782,000円) また、前年度から繰り越した林小学校及び龍雲中学校校舎等建設事業分については完了した。 (平成25年度繰越明許事業費：592,945,000円)</p>
	教育局 総務課	
2	小学校狭隘校地拡張整備事業 31,945千円	<p>校区周辺の都市化により、児童数が想定以上に増加したことに伴う校舎の増築などにより、既存学校用地が狭隘化した学校について、学校用地の拡張について検討した。</p>
	教育局 総務課	
3	塩江地区小・中学校建設事業 981,649千円	<p>合併建設計画に基づき、塩江地区3小学校を統合し、塩江中学校の敷地に小・中学校の施設を一体的に整備をしている。平成24年度に工事着手し、27年4月には3小学校を統合、新たな塩江小学校が開校した。</p>
	教育局 総務課	
4	特別支援教育推進事業 111,371千円	<p>特別支援教育支援員65人を雇用し、小学校50校中42校に各1名、1校に2名を、中学校23校中19校に各1名、1校に2名を配置したことに加え、特別支援教育サポーター45人を雇用し、小学校27校に各1名、1校に2名を、中学校15校に各1名、1校に2名を配置し、特別支援学級や通常の学級に在籍する様々な障害のある児童生徒の基本的な生活習慣の確立や身体能力の向上などに寄与した。</p>
	教育局 学校教育課	
5	少人数学級推進事業 14,850千円	<p>生徒指導上の困難な課題を抱えるなど、学級の安定を図る必要がある小学校第5、6学年を対象に、1学年106人以上、1学級35人以上の児童数を有し、現有施設で対応可能な希望校に、市費講師1名を配置することにより、個に応じたきめ細かな指導を充実させるとともに、少人数で落ち着いた学級経営に寄与した。 平成26年度は、少人数学級推進校5校を対象に実施した結果、授業離脱や授業妨害、離席などが減少し、落ち着いた学級経営が行えるようになった。また、教師が一人一人の児童に関わる時間が増え、児童が学習に意欲的に取り組むようになり、県学習状況調査や県版テストなどで、学力の向上が見られた。</p>
	教育局 学校教育課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	小中一貫・連携教育推進事業 7,262千円	<p>平成22年4月に高松第一小学校が開校し、施設一体型小中一貫教育を完全実施した。小中学校教職員交流の充実及び9年間を見通した教育課程を実施した。</p> <p>また、中1ギャップ解消のために、26年度から中1スタートサポーター5人を市内中学校5校に配置した。小学校第1学年からの英語教育や「高松みらい科」の実践、小学校高学年での中学教員による一部教科担任制の実施により、不登校数の増加がみられないことや学力の向上の成果が表れ、子どもたちの健やかな成長に寄与した。</p>
	教育局 学校教育課	
7	学校図書館活性化推進事業 124,236千円	<p>学校図書館指導員58人を雇用し、小学校50校、中学校23校に配置するとともに、児童生徒の在籍数に応じて、小学校36校、中学校9校には専任配置としたことにより、図書室の環境整備や図書の選定、学習に必要な資料の収集、読み聞かせ等読書活動の充実が図られ、児童生徒一人当たりの年間貸出冊数も増加した。</p> <p>また、学校図書館指導員の研修会を年間11回実施し、指導員としての資質向上による各学校での業務の充実に貢献した。</p>
	教育局 学校教育課	
8	高松市総合教育センター整備事業 564千円	<p>新塩屋町小学校の跡地に教職員研修の体系化と一元実施による資質の向上や、教育の情報化の推進、また、教育相談の充実を図るために、適応指導教室を併設する、総合教育センターを整備した。</p> <p>また、北棟の撤去及び緑地帯整備について、地域や建築課等の意見を聴取し、実施の方向性を検討した。</p>
	教育局 総合教育センター	
9	小学校管理運営事業 751,747千円	<p>小学校のうち、合併協定に基づく対象校やへき地教育対象校、生徒指導困難校に常勤講師9人を配置することにより、教育を充実させたほか、各教科や部活動等において社会人の活用を図る特別非常勤講師を小学校49校に67人配置することにより、学校教育の活性化及び多様化に貢献した。</p>
	教育局 学校教育課	
10	小学校校舎整備事業 342,580千円	<p>学校施設の整備を行い、良質な学校教育施設を維持するために、修繕・改修工事等を実施した。</p> <p>なお、亀阜小学校外壁改修等の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：41,762,000円)</p> <p>また、前年度から繰り越したPCB処理事業及び男木小・中学校校舎解体事業の一部については完了した。 (平成25年度繰越明許事業費：44,817,000円)</p>
	教育局 総務課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
11	小学校施設整備事業 135,785千円	<p>学校施設の整備を図り、良質な学校教育施設を維持するために、修繕・改修工事等を実施した。 なお、木太南小学校受水槽改修ほかを翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：40,138,000円) また、前年度から繰り越した男木小・中学校のり面改修事業の一部については完了した。 (平成25年度繰越明許事業費：10,977,000円)</p>
	教育局 総務課	
12	給食場整備事業 35,015千円	<p>学校給食施設の整備を図り、良質な学校教育施設を維持するために、修繕・改修工事等を実施した。</p>
	教育局 総務課	
13	中学校校舎整備事業 185,240千円	<p>学校施設の整備を図り、教育施設の充実を図るため、修繕・改修工事等を実施した。 なお、国分寺中学校校舎外壁改修を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：39,165,000円) また、前年度からのPCB処理事業及び男木小・中学校校舎解体事業の一部については完了した。 (平成25年度繰越明許事業費：67,226,000円)</p>
	教育局 総務課	
14	中学校施設整備事業 125,652千円	<p>学校施設の整備を図り、良質な学校教育施設を維持するために、修繕・改修工事等を実施した。 また、前年度からの男木小・中学校のり面改修事業の一部については、完了した。 (平成25年度繰越明許事業費：15,972,000円)</p>
	教育局 総務課	
15	中学校管理運営事業 352,567千円	<p>中学校のうち、合併協定に基づく対象校やへき地教育対象校、生徒指導困難校に、教育の充実や教科指導、及び複式解消のために必要な常勤講師5人及び、非常勤講師1人を配置することにより、学校教育の円滑な運営が実現できたほか、各教科や部活動等において社会人の活用を図る特別非常勤講師を中学校7校に10人配置することにより、学校教育の活性化及び多様化につながった。</p>
	教育局 学校教育課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
16	高等学校管理運営事業 79,563千円	<p>安全で快適な学習環境を確保するため、施設の維持管理や管理用品の措置に努め、生徒の学力の向上に寄与したほか、図書館棟外壁その他改修工事等、老朽化した施設の改修工事を実施したことにより、教育環境が向上した。</p> <p>なお、前年度からの繰越事業である高松第一高等学校自転車置場屋上防水改修工事については完了した。 (平成25年度繰越明許事業費：4,101,840円)</p>
	教育局 高松第一高等学校	
17	幼稚園管理運営事業 360,964千円	<p>幼稚園設置基準に基づき、公立幼稚園の維持管理を適正に行うことにより、保育している幼児の、心身ともに健やかな育成に寄与した。</p>
	健康福祉局 こども園運営課	
18	給食センター整備事業 1,332千円	<p>安全で良質な学校給食の提供を図るため、施設の老朽化が著しい調理場や校区内の児童生徒数の増加により調理能力がひっ迫している調理場について、複数の調理場を統合し学校給食センターを建設するための用地の選定作業を行った。</p> <p>なお、前年度からの繰越事業については、完了した。 (平成25年度繰越明許事業費：1,332,360円)</p>
	教育局 保健体育課	
19	教育情報通信ネットワークシステム(TENS)管理運営事業 556,592千円	<p>市立小・中学校とネットワークセンターや関係機関を高速専用回線で結び、システムの安定性と安全性を担保しつつ教育の情報化を推進した。</p> <p>また、国の整備方針に基づき、計画的に小・中学校の教員に校務用ノートパソコンを整備するとともに、校務の効率化及びセキュリティリスクの低減を図る目的でシステムのクラウド化に取り組み、教育用コンテンツの蓄積と紹介等、TENSを活用した情報教育支援を行った。</p>
	教育局 総合教育センター	
20	特別支援教育就学奨励事業 14,333千円	<p>小・中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対して、就学に必要な経費の援助を行い、保護者の経済的負担を軽減することにより、義務教育の円滑な実施に役立てた。</p>
	教育局 学校教育課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
21	学校教育管理事業 8,906千円	学校教育課に配置される非常勤嘱託職員及び臨時的任用職員の人件費支出とともに、学校教育課が所管する業務に係る事務的経費の支出を行うことにより、学校教育の円滑な運営に寄与した。
	教育局 学校教育課	
22	遠距離児童・生徒等 通学費助成事業 1,664千円	離島及び合併前の塩江町・香川町区域内の通学が困難な地域から通学する児童生徒の保護者、また、新設統合校の開校に伴い、従前より通学距離が延長となる児童の保護者に対し、予算の範囲内で補助金を交付することにより、児童生徒の安全を確保し、保護者の負担を軽減した。
	教育局 学校教育課	
23	学校図書館図書整備 事業 37,368千円	各小・中学校の学校図書館図書標準達成率に基づき、小学校50校、中学校23校に図書整備費を配当し、廃棄も行いながら、各校において図書整備を進めたことから、全小・中学校の学校図書館図書標準達成率が、概ね100%を維持し、各校における読書や学習に必要な図書が整備されたことにより、読書活動が活性化し、児童生徒の一人当たりの年間貸出冊数の増加につながった。
	教育局 学校教育課	
24	教育資金支援事業 26,421千円	成績優秀かつ向学心おう盛な生徒であって、経済的理由のため就学困難な者に対し、奨学金を支給するとともに、高等学校等に入学を希望する生徒の保護者で、入学準備金の調達が困難な者に対し、入学準備金を貸し付けることにより、教育の機会均等に寄与した。 また、大学等へ進学した者の保護者で、入学資金融資制度を利用した者に対し、利子補給を行い、保護者の経済的負担を軽減した。
	教育局 学校教育課	
25	就園等奨励事業 544,418千円	幼稚園教育の振興と少子化対策事業の一環として国の就園奨励費補助金を始め、本市の就園費補助金や、第3子以降幼児保育料等補助金を交付することにより、保護者の子育てに係る経済的な負担の軽減に寄与した。
	健康福祉局 こども園運営課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
26	高等学校図書整備事業 1,156千円	学校図書館法に則り、生徒及び教員の利用に供するため、学校図書館の図書等を整備し、学校教育の充実と教養の育成、調査研究等に寄与した。
	教育局 高松第一高等学校	
27	就学奨励事業（学校教育課） 423,289千円	経済的な理由によって、小・中学校に就学することが困難な児童生徒の保護者に対して、就学に必要な経費の援助を行い、保護者の経済的負担を軽減することにより、義務教育の円滑な実施に役立った。
	教育局 学校教育課	
28	小・中学校空調機設置事業 1,530,618千円	教育環境整備の一環として、小・中学校の普通教室等に空調機設置工事を行った。 また、前年度から繰り越した小・中学校空調設備整備事業費分については完了した。 （平成25年度繰越明許事業費：1,814,562,000円）
	教育局 総務課	
29	高松第一高等学校校舎等改築事業 4,072千円	老朽化した校舎等の全面改築に当たり、市立高校としての果たすべき使命や役割を考えた上で、将来を見据えた総合的な検討を行い、校舎改築基本構想を策定するとともに、公募型プロポーザル方式により、改築基本設計に係る設計業者を決定した。
	教育局 高松第一高等学校	
30	特別支援教育体制整備推進事業 231千円	市立保育所、幼稚園、小・中学校、及び高等学校を対象として、特別支援連携協議会の設置、巡回相談・連携訪問の実施、専門家チームの設置・運用、特別支援教育に関する研修等を実施したことにより、特別支援教育の体制の整備を推進し、特別支援教育が充実した。
	教育局 学校教育課	

平成26年度 施策の概要調書

施策	家庭教育の向上	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		9,117千円	53.3(53.3)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政策	生きる力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	市民（家族に子どもがいる家庭）
----	-----------------

目的	次代を担う子どもたちが心豊かにたくましく育つために、大変重要な役割を担っている家庭教育の充実を図る。
----	--

概要（実績）	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級の開設により、家庭教育の向上を推進した。 地域コミュニティ 小学校47学級、幼稚園30学級 市民グループ 5学級 子育て力向上応援講座を市立の全小学校及び全幼稚園で実施したことにより、子育てやしつけ等の向上に寄与した。 早寝早起き朝ごはん運動の啓発のため、就学時健康診断時に全小学校で関係資料を保護者に配布し、子どもたちの基本的生活習慣の形成を推進したほか、小・中学校の児童生徒を対象に「生活リズムチェックシート」を配布し、自らの生活習慣を見直す機会を提供した。
--------	---

成果指標	① 指標名 指標式	朝ごはんを食べている子どもの割合（小学6年生）	実績値	目標値	達成度
			87.0 %	100.0 %	87.0%
	② 指標名 指標式	朝ごはんを食べている子ども数／調査した子ども数×100（小学6年生）			
	② 指標名 指標式	家庭教育学級延受講者数	実績値	目標値	達成度
		24,553 人	27,000 人	90.9%	
	② 指標名 指標式	年度に実施した家庭教育学級を受講した延人数			

課題	真に家庭教育の啓蒙・啓発が必要な保護者に対する、継続的なアプローチの方策を講じるほか、地域、学校、関係団体、家庭などとの多面的連携の強化を図る必要がある。
----	---

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業 1,140千円	子どもたちが生活リズムを向上させ、学習やスポーツ、読書など、様々な活動にいきいきと取り組めるよう、小学校の就学時健康診断を活用して、就学前の児童の保護者を対象に「早寝早起き朝ごはん」運動の普及・啓発を実施したほか、保育所・幼稚園・小学校・中学校への啓発用ちらしの配布や、小・中学校の児童生徒に「生活リズムチェックシート」を配布したことにより、子どもたちの基本的な生活習慣の形成に寄与した。
	教育局 生涯学習課	
2	家庭教育推進事業 3,277千円	小学校・幼稚園等において、保護者を対象とした「家庭教育学級」を開設したほか、就学時健康診断や入学説明会等の機会を活用して、子育てに精通した専門の講師による「子育て力向上応援講座」を実施したことにより、家族の役割や子育てに関する多種多様な学習機会・関連情報が提供され、家庭の教育力の向上につながった。
	教育局 生涯学習課	
3	家庭・地域の教育力向上推進事業 4,700千円	各種団体・行政・NPO等で構成するネットワーク会議を年間3回開催するとともに、2つのモデル地域（太田、香南地区）において、「子どもを中心においた地域づくり」をテーマに、専門のコーディネーターを招き、それぞれワークショップを4回開催したほか、モデル地域の取組等を掲載した情報紙を年2回発行するとともに、各種団体等に対する最終報告会を開催するなど、この事業を広く市内に周知することで、家庭・地域の教育力の向上に貢献した。
	教育局 生涯学習課	

平成26年度 施策の概要調書

施 策	青少年の健全育成	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		42,472千円	51.2(51.0)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政 策	生きる力を育む教育の充実
担当局	教育局

対 象	市内の青少年
-----	--------

目 的	子どもたちの創造性や積極性、社会性を養い、心豊かな人間の育成を目指す。
-----	-------------------------------------

概 要 (実績)	(概要) 青少年の非行防止活動を始めとする青少年健全育成事業やPTA・子ども会など社会教育団体との協働による子どもたちの幅広い交流体験活動などを通じて、青少年が心身ともに健やかに成長できる取組を推進する。
	(実績) 非行防止活動事業 少年育成センターでは、市内を13ブロックに分割し、毎日2～3班の巡視活動、地域においては、少年育成委員を中心として47校区で、月1回以上の巡視活動を実施した。 少年団体育成・仲間づくり推進事業 高松市子ども会育成連絡協議会との共催による新春子どもフェスティバル等、様々な体験活動やスポーツを通じて大人や異年齢の子どもたちと交流した。

成 果 指 標	① 指標名 指標式	未成年者千人当たりの不良行為少年の補導人数 (高松4警察署管内)	実績値	目標値	達成度
			19.7 人	21.0 人	106.2%
		未成年者千人当たりの不良行為少年の補導人数 (減少が望ましい)			

課 題	家庭の教育力向上を推進するとともに、地域、学校、関係機関などとの多面的かつ緊密な連携強化が必要である。
-----	---

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	社会教育団体育成支援事業 4,820千円	高松市PTA連絡協議会や高松市子ども会育成連絡協議会等の社会教育関係団体を支援し、団体の自立を図ることにより、団体の自主的な活動を促進し、加入児童等の健全育成に寄与した。
	教育局 生涯学習課	
2	成人式式典事業 4,798千円	新成人となる青年が、大人になったことを自覚するとともに、自立していく決意を新たにしてもらうため、成人式を開催したところ、約63%の新成人の参加があり、厳粛に式典を実施したことで、大人になるという大きな節目の行事として一定の役割を果たした。
	教育局 生涯学習課	
3	非行防止活動事業 28,801千円	少年非行の早期発見・早期指導等を行うため、少年育成センターでは朝補導を実施するとともに、小学校区をブロック分けし、週1回の割合で巡視活動を行うほか、地域においては、少年育成委員が中心となり、各校区で月1回以上の巡視活動を実施するなど、青少年の健全育成と非行防止のための活動を展開した。 また、幼少時からの万引き抑止を図るため、保護者に対するチラシ配布、市内一斉街頭キャンペーンの実施及び万引き防止教育用紙芝居の配布を行うなど、万引き防止活動を実施した。
	教育局 生涯学習課（少年育成センター）	
4	少年育成センター運営事業 254千円	関係機関及び団体等と連絡調整を図り、少年の非行を防止するとともに、健全な育成について必要な業務を総合的に行う少年育成センターの業務に関する基本的な事項を協議するため、少年育成センター運営協議会を開催した。
	教育局 生涯学習課（少年育成センター）	
5	少年教育推進事業 3,324千円	子どもたちが土に親しみ、農作物を育てる喜びや勤労の尊さを体験し、健康で情操豊かな子どもの育成に資するため、こども農園を開設したほか、新春子どもフェスティバルや子ども会リーダー研修会など子ども会との共催事業を実施し、子ども会活動の充実・発展に貢献した。
	教育局 生涯学習課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	青年教育推進事業 475千円	青年教育の振興を図るため、関係団体を支援したほか、ボランティアの協力により、知的障がい者青年教室（愛称 スキップクラブ）を年間8回実施し、知的障がいのある青年が、様々な体験活動を通じて知識・技能を習得するとともに、人とふれあう喜びを体験する機会を提供した。
	教育局 生涯学習課	

平成26年度 施策の概要調書

施策	子どもの安全確保	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		4,469千円	60.4(58.5)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政策	生きる力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	児童生徒及び関係機関・団体				
目的	児童生徒を事件や事故、犯罪から守るための安全対策を推進する。				
概要(実績)	<p>(概要) 子どもたちを事件や事故、犯罪から守り、地域ぐるみで子どもの安全確保を図るため、防犯の専門家である警察官OBのスクールガード・リーダーを派遣するとともに、不審者情報のメール配信、学校における相談体制の充実や安全教育の推進などに取り組む。</p> <p>(実績) 安全体制の構築、安全教育の実施、不審者情報のメール配信等の安全対策を推進した。また、市内の各幼稚園、小学校へのスクールガード・リーダーの派遣に伴い、地域の警察派出所との情報交流を行うなど、子どもの安全確保に努めた。</p>				
成果指標	① 指標名 指標式	不審者情報メール1次配信先数(市立学校・幼稚園・保育所、市PTA連絡協議会など)	実績値 463 件	目標値 470 件	達成度 98.5%
		年度における不審者情報メール配信先数			

課題	スクールガード・リーダーの人員確保やメール配信先の拡充、更には、学校における相談体制の充実や安全教育の推進など、安全対策強化への取組が必要である。
----	---

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	子どもの安全確保活動 事業 4,469千円	防犯の専門家である警察官OBをスクールガード・リーダーとして 委嘱し、市立の小学校等に派遣し、登下校時の巡視活動や学校の安全 体制に関する指導助言を行った。 また、少年育成センターに寄せられた不審者情報をメール配信し、 少年育成委員、学校、保護者、各関係団体等と情報を共有した。
	教育局 生涯学習課（少年育成センター）	
2	学校安全対策事業	児童生徒を、事件や事故、犯罪から守るため、来庁や電話による相 談体制の充実、安全教育に関する教員研修の実施することにより、児 童生徒の安全対策が向上した。
	教育局 学校教育課	

平成26年度 施策の概要調書

施 策	高等教育の充実	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		0千円	50.1(51.8)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政 策	生きる力を育む教育の充実
担当局	市民政策局

対象	大学等高等教育機関への進学者 大学等高等教育機関の在学者 大学等の高等教育機関
----	---

目的	高等学校卒業後の人材の流出を抑制し、本市への定着化を図るため、高等教育機関の充実と教育環境の整備を図り、市内及び近隣の高等教育機関への進学者を増加させる。
----	---

概要(実績)	この施策では、施策目標に直結する具体的な事務事業は実施していないが、「連携の推進」施策の事務事業として「大学等との連携事業」があり、香川大学、香川高等専門学校、高松大学・高松短期大学、四国学院大学、徳島文理大学と調査研究・共同事業を実施している。 こうした研究活動を通じて、学生が地域と関わる大学等の地域貢献の機会を創出し、地域における地元大学等への親近感を深めるとともに、地元大学等への入学の機運を高めた。
--------	---

成果指標	① 指標名 指標式	大学等との連携・協力事業数	実績値	目標値	達成度
			33 事業	30 事業	110.0%
		大学等と実施した連携事業及び協力事業の累積件数（包括協定に基づき個別に契約等を行ったものを含む。）			

課題	本市が行っている大学等との連携が、地域と一体になった人材育成等の地域貢献の機会となり、高等教育の充実に対して、地元大学等へ進学を促すなど直接的な関与となるよう検討する必要がある。
----	---

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
		事務事業は実施していない。

平成26年度 施策の概要調書

施策	生涯学習の推進	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		427,977千円	57.5(57.1)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政策	心豊かな生涯学習社会の形成
担当局	教育局

対象	市民
----	----

目的	心豊かな生涯学習の形成を図るため、学習機会の拡充や、学びの場の充実と活用により生涯にわたって学習することができる環境を整える。
----	---

概要(実績)	<ul style="list-style-type: none"> いきいき高松まなびプラン(高松市生涯学習基本計画)の推進事業 生涯学習の機会や情報の提供、地域生涯学習支援事業 図書館文化活動事業、図書館資料整備事業
--------	---

成果指標	① 指標名 生涯学習をしている人の割合	実績値	目標値	達成度
		35.5%	50.0%	71.0%
	② 指標名 市民1人当たり貸出冊数	実績値	目標値	達成度
		6.4冊	8.1冊	79.0%
	指標式	$\frac{\text{生涯学習をしていると答えた人数}}{\text{生涯学習アンケート回答者数}} \times 100$ $\frac{\text{年度総貸出冊数}}{\text{人口}}$		

課題	市民の生涯学習の振興を図るため、市民ニーズを的確に把握するとともに、学習の機会や情報の提供を効果的に行う必要がある。
----	--

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	高齢者教育推進事業 2,178千円	<p>地域コミュニティセンターを核に高齢者教室を開設し、多種多様な学習内容及び学習機会を提供し、高齢者の生きがいづくりや社会活動への参画を促進した。</p> <p>・高齢者教室の開設数 51教室</p>
	<p>教育局</p> <p>生涯学習課（生涯学習センター）</p>	
2	生涯学習推進事業 2,401千円	<p>少子高齢化や情報化、環境問題などの現代的課題をテーマとした講座や大学等との連携による各種の専門講座を開催するほか、市民の幅広い学習ニーズに応えるため、市民の学習機会を提供する様々な講座を開催するとともに、まなび映画CANや市民ギャラリー活用事業等を行った。</p> <p>【実績】 209講座を開催（回数378回、受講者数9,536人） 前年比で113.6%の受講者があり、市民の学習意欲の向上に寄与した。</p>
	<p>教育局</p> <p>生涯学習課（生涯学習センター）</p>	
3	市民参画促進事業 659千円	<p>市民と行政との協働によるまちづくりの実現を目指し、公募型の自主企画講座「センター遊友塾」や、地域で生涯学習を推進するコーディネーターの養成講座のほか、市民による自主的な生涯学習の推進を図る市民参画促進委託事業等を実施し、市民が生涯学習事業等の企画・運営などにおいて、積極的に参加できる環境を整備した。</p> <p>【実績】 24講座を開催（回数39回、受講者数1,513人） 前年比で120.2%の受講者があった。</p>
	<p>教育局</p> <p>生涯学習課（生涯学習センター）</p>	
4	コミュニティセンター講座事業 21,206千円	<p>52コミュニティセンターにおいて、人権・環境問題などの現代的課題や学校週5日制に対応した各種の講座のほか、高齢者教室、家庭教育学級等を実施するとともに、自主的な学習活動の場を提供し、地域住民の学習意欲に応えた。</p> <p>【実績】 ・主催事業6,984回の講座を開催（参加人数159,361人） ・共催事業36,466回（参加人数448,036人） 前年比で103.4%の市民が参加し、地域での学習活動として定着している。</p>
	<p>教育局</p> <p>生涯学習課（生涯学習センター）</p>	
5	公共施設利用総合情報システム管理事業 584千円	<p>かがわ電子自治体システムの施設利用申込サービスを活用し、インターネットを通じた生涯学習センターの施設の空き状況照会や予約ができるサービスを提供し、その効果的な管理運営を行った。</p> <p>【実績】 施設予約電子申請件数 （インターネット642件、業務端末3,207件）</p>
	<p>教育局</p> <p>生涯学習課（生涯学習センター）</p>	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	生涯学習センター管理運営事業 38,180千円	生涯学習の拠点施設である生涯学習センターの適切な運営と施設の維持管理を行った。
	教育局 生涯学習課（生涯学習センター）	
7	図書館運営事業 224,323千円	中央図書館及び各地域館において図書館のネットワーク化を図り、図書館間での資料の貸出・返却・予約を可能とするほか、移動図書館車3台により、市内87か所の巡回と、「瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定」に基づき、直島町2か所への巡回も行った。 また、資料収集については、資料の選定や収集を工夫し、多様化する市民の生涯学習意欲に応えられるよう努めたほか、地域課題解決支援の一環として、子育て支援事業、ビジネス支援事業も積極的に行った。 なお、図書館外施設での予約図書取次事業も継続的に実施した。
	教育局 中央図書館	
8	図書館文化活動事業 593千円	子どもの読書活動を推進するため、子ども読書まつりや子供向け講座を開催したほか、子どもを対象としたおはなし会を行うボランティアの技能向上等を図るため、講座・研修会を実施した。 子ども読書まつり参加者 約3,600人（2日間合計） 読み聞かせボランティアのための講座 年4回開催
	教育局 中央図書館	
9	図書館管理事業 137,101千円	中央図書館・菊池寛記念館・歴史資料館及び各地域館の施設維持管理事業で、老朽化が進んでいるサンクリスタル高松の建物を適切に維持管理することにより、図書館等利用者への安全で快適な環境を提供した。
	教育局 中央図書館	
10	いきいき高松まなびプラン（高松市生涯学習基本計画）推進事業	平成25年度から5年間を計画期間とし、「ともに学び・支えあう、地域力を育む生涯学習社会の創造」を目標に掲げ策定した「いきいき高松まなびプランⅢー高松市生涯学習基本計画ー」に基づき、市民の生涯学習の充実とともに、市民が自らの学習成果を地域や社会で活かし活動できるよう、各種施策・事業を実施した。
	教育局 生涯学習課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
11	ふれあい創作館管理事業 582千円	ふれあい創作館の施設を適切に維持管理したことにより、地域活動拠点の場を提供した。
	教育局 生涯学習課	

平成26年度 施策の概要調書

施策	スポーツ・レクリエーションの振興	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		1,993,912千円	54.5(56.9)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政策	心豊かな生涯学習社会の形成
担当局	創造都市推進局

対象	市民
----	----

目的	スポーツ・レクリエーション活動の推進やスポーツ施設の整備などを行い、スポーツ・レクリエーションの振興を図る。
----	--

概要(実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設等管理運営事業 ・屋島陸上競技場再整備事業 ・市民スポーツ活動推進事業 ・市民スポーツフェスティバル開催事業 ・学校体育施設開放事業 ・地域密着型トップスポーツチーム支援事業 ・南部地域スポーツ施設(仮称)整備事業 ・ヨット競技場再整備事業
--------	--

成果指標	① 指標名 総合型地域スポーツクラブ数	実績値	目標値	達成度
		9 クラブ	10 クラブ	90.0%
	② 指標名 社会体育施設の利用者数	実績値	目標値	達成度
		1,869,189 人	1,560,000 人	119.8%

課題	市民ニーズが多様化する中、市民ニーズの的確な把握に努めるとともに、スポーツ振興の更なる推進のため、これまで以上に行政と市民が協働・連携する方策の検討が必要である。
----	---

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	南部地域スポーツ施設 (仮称) 整備事業 53,837千円	「高松市南部地域スポーツ施設(仮称)」整備基本構想検討懇談会懇談会から基本構想についての最終報告を受け、6月に基本構想を策定した。また、整備候補地を購入し、実施設計に着手した。 なお、設計内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：4,050,000円)
	創造都市推進局 スポーツ振興課	
2	屋島陸上競技場再整備 事業 869,674千円	屋島陸上競技場の再整備に向け、メインスタンド・バックスタンド・サイドスタンドの地業・掘削・基礎・土間工事に着工しており、概ね予定通り進んでいる。 なお、建設工事等に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：450,750,000円)
	創造都市推進局 スポーツ振興課	
3	地域密着型トップス ポーツチーム支援事業 22,673千円	サッカーのカマタマーレ讃岐など4つの地域密着型トップスポーツチームと地域との連帯感を醸成するため、香川プロスポーツクラブ連絡協議会が行うイベントに対する負担、各チームが行う練習・教室に係るスポーツ施設等使用料に対する補助、ユニフォーム等への高松市ロゴの掲載やホームゲームでの優秀選手表彰及びスポーツ施設の優先使用等の支援事業を実施した。
	創造都市推進局 スポーツ振興課	
4	市民スポーツ活動推進 事業 40,987千円	生涯スポーツの振興を図るため、地区体育協会や高松市体力づくり市民会議等と連携・支援する中で、地区対抗による6種目の大会やこんぴら健脚大会等の各種事業を実施するとともに、高松市体育協会への支援を通じて、競技力の向上に取り組んだ。また、青少年のスポーツ振興を図るため、スポーツ少年団の認定員養成講習会などの事業への支援を行った。さらに、地区におけるスポーツに関する指導・助言やスポーツ行事の企画運営などを行うスポーツ推進委員の活動によって、市民の健康・体力づくり運動の普及推進、スポーツ人口の拡大に努めた。
	創造都市推進局 スポーツ振興課	
5	市民スポーツフェス ティバル開催事業 12,000千円	9種目の小学校区対抗競技大会、市内6ブロック対抗水泳競技大会及び高松ファミリー&クォーターマラソンinAJIを実施し、4,308人が参加し、市民の健康・体力づくり運動の普及推進、スポーツ人口の拡大に努めた。 なお、トリムの祭典は、荒天に伴い、中止とした。
	創造都市推進局 スポーツ振興課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	学校体育施設開放事業 19,347千円	地域、職場等のコミュニティ・スポーツの場として、小学校体育施設については全校区、中学校体育施設については14校の学校体育施設開放事業を促進し、スポーツ活動の振興に努めた。 また、中学校体育施設の開放校を拡充するための協議を行った。
	創造都市推進局 スポーツ振興課	
7	スポーツ施設等管理運営事業 946,250千円	施設利用申込サービス（かがわ電子自治体システム）を活用して、スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営を行った。 なお、改修工事に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：138,983,000円） また、前年度からの繰越事業である市民プール更衣室棟屋上防水改修工事については完了した。 （平成25年度繰越明許事業費：5,378,400円）
	創造都市推進局 スポーツ振興課	
8	ヨット競技場再整備事業 29,144千円	平成26年度において、敷地測量、環境測定業務を実施し、実施設計を完了した。
	創造都市推進局 スポーツ振興課	

平成26年度 施策の概要調書

施策	文化芸術活動の推進	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		141,244千円	57.9(55.9)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政策	地域に根ざした文化芸術の創造と振興
担当局	創造都市推進局

対象	市民
----	----

目的	優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援等、市民の自主的・創造的な文化芸術活動を推進する。
----	--

概要(実績)	デリバリーアーツ事業 ・公演回数 16回、鑑賞者数 1,542人 文化芸術活動推進事業 ・学校巡回芸術教室20回、学校巡回能楽教室6回 ・文化芸術活動補助41件、文化団体活動補助15団体 美術館運営事業 ・常設展 4回、特別展 4回 菊池寛顕彰事業 ・文学展等の開催 ・香川菊池寛賞及び菊池寛ジュニア賞の作品募集選奨
--------	---

成果指標	① 指標名 指標式	デリバリーアーツ事業鑑賞者数	実績値	目標値	達成度
			1,542人	2,230人	69.1%
		年間の事業参加者数			

課題	優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援など、市民の自主的・創造的な文化芸術活動を更に推進する必要がある。
----	--

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	デリバリーアーツ事業 4,263千円	市民の身近に文化芸術を出前するデリバリーアーツ事業を実施し、優良芸術を鑑賞する機会づくりに努めたことにより、地域に根ざした文化芸術の振興に対する市民の共感を得た。
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
2	文化奨励賞贈呈事業 340千円	本市の文化の振興に貢献し、将来において更にその活躍が期待される者を奨励するため、2名に文化奨励賞を贈呈した。
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
3	市民文化祭開催事業 8,351千円	高松市市民文化祭アーツフェスタたかまつ2014を開催し、文化活動の発表の場を作るとともに、関係団体の相互交流及び作品鑑賞の機会づくりに努めたことにより、文化芸術の振興に効果があった。
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
4	文化芸術活動推進事業 26,363千円	文化団体の育成・援助及び文化芸術活動事業補助を実施し、文化団体の自主的な活動を促進した。 また、児童生徒を対象に学校巡回芸術教室、学校巡回能楽教室を実施し、優良芸術を鑑賞・体験する機会づくりに努めたほか、ものづくりふれあい教室の実施により、手作りでものづくりにチャレンジする機会を提供した。 さらに、邦楽を中心とした水準の高い野外コンサートや、瀬戸・高松広域定住自立圏域内の児童を招待し、劇団四季ミュージカル「こころの劇場」公演事業を開催することにより、生の文化芸術に触れる機会を提供し、文化芸術の普及と振興に効果があった。
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
5	美術館運営事業 57,068千円	市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提供するため、高松市美術館において、各種の美術展等を開催するとともに、美術館ボランティア等によるギャラリートーク活動を行ったほか、「エントランス・ミニコンサート」などの催し物を開催した。 また、塩江美術館においても、地域に密着した各種展覧会を開催するとともに、企画展関連のアートイベントを開催した。 さらに、市民に親しまれ、魅力ある美術館となるよう「美術館の日」（8月第1土曜日）に展覧会の観覧料を無料とするとともに、親子で楽しめるイベントなどを実施したことにより、文化芸術の普及と振興に効果があった。
	創造都市推進局 美術館美術課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	菊池寛顕彰事業 5,799千円	高松市が生んだ偉大な文化人である菊池寛の功績を顕彰するとともに、教養の向上と文化の発展に寄与するため、「香川菊池寛賞」や市内の小・中学校を対象とする「菊池寛ジュニア賞」の作品募集・選奨を行った。 また、市民が文学に触れる機会を提供するため、文学探訪や企画展、記念講演会などの事業を実施したことにより、文化芸術の普及と振興に効果があった。
	創造都市推進局 文化財課	
7	文化芸術振興条例制定事業 990千円	文化芸術の振興に関する基本的理念や枠組みなどを定めるため、平成25年12月に制定した「文化芸術振興条例」に基づき、平成27年3月に本市の文化芸術の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため指針となる「高松市文化芸術振興計画」を策定した。
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
8	文化芸術ホール開館10周年記念事業 10,000千円	サンポートホール高松が、平成26年5月に、開館10周年を迎えたことから、記念事業として市民参加による企画提案事業（オペラ「扇の的」）を実施するとともに、平年実施している自主事業を記念事業として位置付けるなど、年間を通じて記念事業を効果的に展開することで、文化芸術の創造と振興に寄与した。
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
9	菊池寛遺品整理・収集事業（開館20周年関連事業） 878千円	本市が生んだ偉大な文化人で、現在の文壇の隆盛の礎を築いた菊池寛の功績と名誉を末長く顕彰するため、遺品の収集・収蔵品の整理を行い、菊池寛記念館収蔵資料目録を作成し、同館が菊池寛の遺品を収蔵・展示する日本で唯一の施設であることを全国に発信した。
	創造都市推進局 文化財課	
10	瀬戸内メディアアート祭（仮称）開催事業 27,192千円	本市の文化芸術の振興と新たな産業を創出するため、先端メディア・テクノロジーを使用したメディアアートによって、高松の魅力を表現する「高松メディアアート祭」の開催に向け、プロジェクトンマッピングの作品をプレイベントとして展示した。 プレイベントの開催により、多くの市民にメディアアートについて、理解を深めてもらうとともに、平成27年度に開催される本祭の広報活動にも繋がった。
	創造都市推進局 文化芸術振興課	

平成26年度 施策の概要調書

施策	文化芸術を創造する環境づくり	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		1,509,934千円	57.7(68.3)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政策	地域に根ざした文化芸術の創造と振興
担当局	創造都市推進局

対象	市民
----	----

目的	文化芸術施設相互の連携を図る中で、その整備と機能の充実に努めるとともに、文化芸術の交流や効果的な情報発信を図り、文化芸術を創造する環境をつくる。
----	--

概要(実績)	文化芸術ホール管理運営事業 ・文化芸術ホール管理運営、自主事業 美術館管理事業 ・施設運営、建物の維持管理 美術館資料収集事業 ・美術品購入 10点 瀬戸内国際芸術祭開催事業 歴史資料館常設展事業 ・企画展4回、収蔵品展1回 開催、資料整備
--------	--

成果指標	① 指標名 指標式	高松市美術館の展覧会観覧者数	実績値	目標値	達成度
			91,714 人	155,000 人	59.2%
		年間の市美術館観覧者数			

課題	今後、文化施設の老朽化に伴い、修繕などに係る維持管理経費の増加が見込まれるため、長期修繕計画策定などの対応が必要である。
----	--

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	瀬戸内国際芸術祭推進事業 5,640千円	瀬戸内国際芸術祭2013終了後、恒久的に残す作品を、ART SETOUCHI 2014として位置付け、女木島、男木島、大島、高松港周辺において公開されるに伴い、維持管理を行った。 また、瀬戸内国際芸術祭2016に向け、実行委員会と連携を図り、準備、広報等情報発信を行った。
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
2	まちなかパフォーマンス事業 21,612千円	市民の文化芸術への関心を深め、「アート・シティ高松」の実現に向け、市民に親しみやすい音楽やイベント、大道芸のストリート・パフォーマンスや、高松フラストリート等特色ある事業を実施した。
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
3	元香南陶芸館管理事業 251千円	元香南陶芸館を香南陶芸クラブに貸し付けるとともに、施設の維持管理を行った。
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
4	文化芸術ホール管理運営事業 685,561千円	公益財団法人高松市文化芸術財団を文化芸術ホールの指定管理者として指定し、文化芸術ホールの効果的な管理運営に努めるとともに、同財団が実施する情報誌等発行事業、ホームページ運用事業、財団自主事業に対し、助成を行うことにより、文化芸術振興事業を推進した。
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
5	菊池寛記念館管理運営事業 12,650千円	菊池寛の業績を顕彰し、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、菊池寛に関する資料の収集、保管及び展示を実施するなど、適切な管理運営を行った。
	創造都市推進局 文化財課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	歴史資料館管理運営事業 13,429千円	高松市の歴史・考古・民俗等に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与するために必要な歴史資料・民俗資料等の展示・収集・保管・調査研究などの機能を果たすために必要な管理・運営を行った。
	創造都市推進局 文化財課	
7	美術館資料収集事業 21,791千円	美術品取得方針に基づき、美術品の系統的な収集を行うことにより、収蔵品が拡充した。
	創造都市推進局 美術館美術課	
8	美術館管理事業 132,389千円	収蔵品を適切に保管し、快適な鑑賞環境を維持するため、美術館の建物や設備機器を適切に維持管理するとともに、より効果的な管理運営を行った。
	創造都市推進局 美術館美術課	
9	美術教育普及事業 962千円	美術教育普及の一環として、子どものアトリエや各種ワークショップ、塩江美術館陶芸教室などを開催することにより、美術教育が充実した。
	創造都市推進局 美術館美術課	
10	香南歴史民俗郷土館管理運営事業 12,769千円	香南地区の有力豪族由佐氏の居城跡という館の立地を生かして、高松平野南部地域の資料の収集・保管・調査を行うとともに、展示・歴史講座などの教育活動を行った。
	創造都市推進局 文化財課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
11	讃岐国分寺跡資料館管理運営事業 9,626千円	特別史跡讃岐国分寺跡の歴史的意義等を説明するため展示及び情報の提供並びに教育普及活動を実施した。
	創造都市推進局 文化財課	
12	石の民俗資料館管理運営事業 22,629千円	石と人間のかかわりの文化を観点に資料の収集・保管・調査を行うとともに、展示・体験学習などの教育活動を実施した。
	創造都市推進局 文化財課	
13	歴史資料館教育普及活動事業 3,875千円	サンクリスタル学習の受入、企画展での講演会、夏休み子ども歴史講座等の各講座を開催し、郷土の歴史や文化についての興味を喚起し、知識を深められるような教育普及事業を実施した。
	創造都市推進局 文化財課	
14	歴史資料館常設展事業 7,689千円	高松の歴史や文化に関わる資料の収集・保存・収蔵資料の整理調査と収蔵品システムへの登録・公開・ボランティア団体との連携によるサービスの充実を図りながら、企画展・ロビー展を開催し多くの観覧者を得た。
	創造都市推進局 文化財課	
15	美術館改修事業 515,447千円	平成25年3月に策定した、「高松市美術館改修基本計画」に基づき、改修基本設計・実施設計を行った。平成27年1月から約1年間、改修工事のため休館しており、平成28年にリニューアルオープンを目指す予定である。
	創造都市推進局 美術館美術課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
16	高松国分寺ホール管理運営事業 42,924千円	日本管財・JTBコミュニケーションズ共同事業体を高松国分寺ホールの指定管理者として指定し、同ホールの効果的な管理運営を行った。また、自主事業に対し、助成を行うことで文化芸術の振興を推進した。 また、開館1周年記念事業として日仏共同制作作品の公演を行った。
	創造都市推進局 文化芸術振興課	
17	“瀬戸の都・高松”石彫トリエンナーレ事業 690千円	平成27年度に、10回目となる本事業の実施に向け、実行委員会委員等との調整、準備を行った。 また、次回を節目の回として位置付け、それにふさわしい作家の作品制作・展示や地元との関連事業の準備を行った。
	創造都市推進局 文化芸術振興課	

平成26年度 施策の概要調書

施策	文化財の保存と活用	事業費	市民満足度 (括弧は昨年度)
		141,233千円	59.0(60.6)

まちづくりの目標	心豊かな人と文化を育むまち
政策	地域に根ざした文化芸術の創造と振興
担当局	創造都市推進局

対象	本市の歴史文化遺産のなかで、国・県・市において指定する等、調査・保存・活用するのに相応しいもの
----	---

目的	本市の歴史文化遺産の保存・管理と公開・活用を図る
----	--------------------------

概要(実績)	屋嶋城跡城門遺構整備事業等の実施を始め、文化財指定や各種調査機能の充実、指定文化財の管理・修理・伝承公開事業に対する補助金支出、説明板の設置、さらに、ふるさと探訪等文化財学習会を開催し、文化財の保存と活用に寄与できた。
--------	---

成果指標	① 指標名 指標式	ふるさと探訪等文化財学習会の参加者数	実績値	目標値	達成度
			1,241 人	1,170 人	106.1%
		年間の文化財学習会参加者数			

課題	史跡天然記念物屋島や史跡石清尾山古墳群など広大な範囲をもつ文化財については、定期的な巡視でも、なお目が届かない部分がある。
----	---

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
1	古代山城屋嶋城跡城門遺構整備事業 25,515千円	屋嶋城跡城門北側石垣及び城門部分の修復工事を行った。 なお、国等関係者との協議に時間を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：61,414,000円)
	創造都市推進局 文化財課	
2	史跡石清尾山古墳群保存・整備事業（稲荷山地区） 11,682千円	史跡への追加指定に向けた稲荷山地区に所在する古墳の価値を明らかにするため、「稲荷山姫塚古墳」の発掘調査及び「稲荷山北端1号墳」の測量調査を実施した。 前者では積石塚古墳の構造を初めて詳細に明らかにしたほか、後者が全国でも最古級の前方後円墳であったことが判明するなど、大きな成果を挙げた。
	創造都市推進局 文化財課	
3	文化財保存活用推進事業 32,885千円	指定文化財の説明板等の設置・修理、管理・伝承公開事業等への補助、市が所有する史跡等の維持管理や新たな文化財の指定を行うとともに、郷土の文化財を巡り、歴史学習の場とする行事を年間10回開催したことなどにより、市民の文化財に触れる機会が得られた。 なお、前年度からの繰越事業である史跡高松城跡図録等作成業務については完了した。 (平成25年度繰越明許事業費：2,199,800円)
	創造都市推進局 文化財課	
4	文化財調査事業 26,766千円	市内の史跡及び埋蔵文化財包蔵地の内容確認を実施し、文化財の適切な保護、活用を図る上で必要な資料蓄積を行った。 また、新病院整備事業に伴う埋蔵文化財調査については、病院付帯施設の発掘調査を実施したほか、これまでに完了した発掘調査の成果を取りまとめる作業を実施した。
	創造都市推進局 文化財課	
5	史跡讃岐国分寺・国分尼寺跡保存整備事業 13,897千円	史跡讃岐国分尼寺跡について、土地を買い上げ公有化を進めた。
	創造都市推進局 文化財課	

平成26年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容
担当課		
6	史跡天然記念物屋島保存・整備事業 11,007千円	史跡天然記念物屋島の構成要素である屋嶋城跡浦生地区の発掘調査を実施し、城壁構造の一部を明らかにするとともに、北嶺山上地区の発掘調査を実施した。また、屋島のヘリレーザー測量を実施した。
	創造都市推進局 文化財課	
7	四番丁スクエア等管理運営事業 15,624千円	市内の埋蔵文化財の保護及び活用を図るため、整理作業及び展示・普及啓発を実施した。また、コミュニティ、市民活動センター、創造支援センターの複合施設があり、地域活動の場でもある四番丁スクエアの必要な管理業務を実施した。
	創造都市推進局 文化財課	
8	史跡天然記念物屋島活用事業 3,857千円	史跡及び天然記念物屋島の指定80周年を記念し、歴史資料館で香川大学と連携して企画展を実施するとともに、シンポジウムや講演会を実施し、屋島の魅力の掘り起しと周知を行った。また、サンクリスタル屋島学習を開始し、多くの小学生に現地を公開し、積極的な活用を図った。このほか、一般市民を対象にした屋島の現地見学会を実施し、サンクリスタル屋島学習を含め、約2,300名の参加者があった。
	創造都市推進局 文化財課	